Newsletter

●発行：日本農業市場学会事務局
〒573-0101　大阪府枚方市長尾峠町 45-1
摂南大学農学部食農ビジネス学科　気付
TEL：072-896-6000（農学部事務室気付）
FAX：072-896-6003（農学部事務室気付）

日本農業市場学会　2023 年度大会（三重大学）　案内

1．大会日程

2023 年 7 月 7 日（金）	各種委員会	16：00～17：30
	理事会	17：30～19：00
7 月 8 日（土）	大会シンポジウム （韓国食品流通学会特別講演を含む）	9：00～16：30
	総会、学会賞表彰式	16：30～17：30
7 月 9 日（日）	個別報告	9：00～13：00

※昼食に関して

- 7 月 8 日（土）と 9 日（日）とも学内食堂休業日です。
- 7 月 8 日（土）については予約制でお弁当（大学生協）を販売します。価格は 1,000 円です。予約は Google Forms からお願いします。多少の余裕をもって発注しますので予約なしでも購入できますが、品切れの際はご容赦ください。一般的なお弁当のためハラル等には対応できません。こちらもご容赦下さい。
- 7 月 9 日（日）は 12：00～13:00 の間にコーヒーブレイクとしてサンドイッチ等の軽食を準備します。
- 学内にコンビニはありますが、土日の弁当類入荷量はそれほど多くはありません。また、大学周辺に食事ができるところは多くありません（丸亀うどんが会場から徒歩 15 分のところにあります）。お弁当を注文されない場合、昼食をご持参いただくことをお勧めいたします。

2．大会会場：三重大学生物資源学部（三重県津市栗真町屋町 1577）

大会シンポジウム・総会	生物資源学部 2 階 218 講義室
韓国食品流通学会特別講演	生物資源学部 2 階 218 講義室
懇親会	三重大学第 1 生協食堂
個別報告	生物資源学部 1 階 118 講義室, 125 講義室

	生物資源学部 2 階 216 講義室, 217 講義室, 220 講義室
理事会・各種委員会	理事会及び各種委員会のみ人文学部校舎
理事会	人文学部校舎 3 階 第 3 講義室
各種委員会	企　　画：人文学部校舎 2 階 IT フロンティア室
	編　　集：人文学部校舎 3 階 第 3 講義室
	学 会 賞 選 考：人文学部校舎 2 階 212 講義室

３．参加費用

大会参加費	一般会員：4,000 円 学生会員：3,000 円
	会 員 外：4,500 円 学　　生：3,500 円
懇親会	一般会員・会員外：5,000 円, 学生会員・会員外学生：3,000 円

４．参加申し込みについて

下記申し込みフォームより、6 月 23 日（金）17 時までにお申し込みください。

https://forms.gle/SNTGz5cecRuFSkg67

５．大会実行委員会

実行委員長：徳田博美（名古屋大学）

事務局：森　久綱（三重大学），常 清秀（三重大学），関根佳恵（愛知学院大学）

連絡先：amsj.mie2023@gmail.com

６．大会プログラム

◆ 大会シンポジウム

日　時：　7 月 8 日（土）　9：00～16：30（終日開催）

会　場：　三重大学

方　法：　対面開催

テーマ：　食料・農業・農村基本法の見直し－持続可能で公正な農と食のあり方にむけて－

座　長：　荒井　聡（福島大学）、関根　佳恵（愛知学院大学）

◆　タイムスケジュール（予定）

会長挨拶	9：00～ 9：05（ 5 分）
大会実行委員長挨拶	9：05～ 9：10（ 5 分）
座長解題	9：10～ 9：20（10 分）
第 1 報告　横山　英信（岩手大学）	9：20～10：00（40 分）

「現行基本法下の農政・農業の動向と同法見直しに向けた政策課題―小麦政策と小麦輸入・国内生産に焦点を当てて―」

第 2 報告　鈴木　宣弘（東京大学）	10：00～10：40（40 分）

「食料安全保障政策と基本法の見直し―経済的持続可能性を考える―(酪農・畜産を中心に)」

第 3 報告　谷口　吉光（秋田県立大学）	10：40～11：20（40 分）

「農政における有機農業の位置づけの変遷から見る日本の農業環境政策の問題点」

第 4 報告　西山　未真（宇都宮大学）	11：20～12：00（40 分）

「現行農業基本法の改正に必要な視点―食と農の関係からのアプローチ―」

韓国食品流通学会　特別講演	12：00～12：30（30 分）
「韓国における農産物流通構造改善対策」　魏台錫（韓国農村振興庁）	
昼食・休憩	12：30～14：00（90 分）
コメント　磯田宏（九州大学）、高梨子文恵（東京農業大学）	14：00～14：30（30 分）
総合討議	14：30～16：10（100 分）
座長総括	16：10～16：20（10 分）
休憩	16：20～16：30（10 分）
総会、学会賞表彰式	16：30～17：30（60 分）
懇親会	18：00～20：00

◆懇親会

7 月 2 日（土）三重大学第 1 生協食堂　　18：00～20：00

＜大会事務局からのお願い＞

参加人数把握のため、Google Forms からご登録下さい（参加登録がなくてもご参加いただけますが、大学生協食堂への発注の関係から、参加をご希望される場合にはできるだけ事前にご登録いただきますようお願いいたします）。

５類への移行に伴い、開催する方向で準備を進めています。ただし、状況の変化から政府，三重県または三重大学からの注意・勧告等の発表によっては中止をする場合もあります。詳しい内容は HP でお知らせします。

◆個別報告

7 月 9 日（日）9：00～13：00 を予定

＊終了時間については、報告数や会場の関係で、若干の変更がある場合があります。

・個別報告プログラムにつきましては、6 月中旬に学会ホームページで公開します。

※個別報告を申し込まれた方へ

- 個別報告は各報告、発表時間 20 分、質疑 10 分です。
- 個別報告でプロジェクターを使用する場合、7 月 3 日（月）17 時までに企画委員会事務局（メールアドレス：岸上　光克 <mkishi@wakayama-u.ac.jp>）に添付ファイルにて送信して下さい。その際、メールの題名は「市場学会個別報告：お名前」としてください。
  受信したことをお知らせするメールを返信いたしますので、必ずそれをご確認下さい。
- プロジェクターでの使用ファイルは PDF ファイルのみ可となっていますので、ご注意下さい。
- 不慮の事故によるデータ損失を防ぐため、2 個以上の電子媒体（例えば USB メモリ 2 個）に PDF ファイルを保存してご持参下さい。
- 会場での資料印刷は、増し刷りも含め一切できません。配付する資料は必ず報告者自身が事前に準備してください。

◆ シンポジウム趣旨

日本農業市場学会研究大会シンポジウム

「食料・農業・農村基本法の見直しー持続可能で公正な農と食のあり方にむけてー（仮）

座長　荒井　聡（福島大学）、関根　佳恵（愛知学院大学）

1999 年に施行された食料・農業・農村基本法(新基本法)の検証と見直しが議論されている。その背景として、第一に、食料自給率の傾向的低下のもと、コロナ禍、円安、ロシアによるウクライナ侵攻により輸入農産物価格・資材価格が高騰するなど、食料安全保障への危機感の高まりがある。第二に、農業による環境負荷の高まりのもと、みどりの食料システム戦略で示されたような 2050 年を見据えた持続可能な農業生産システムへの転換が世界的規模で要請されている。第三に、他国より突出して農業生産者の高齢化が進み、農村コミュニティの維持が今後ますます困難に直面すると危惧されている。

これらの変化は今回の見直しの直接的契機となっているが、新基本法に内在する特性からこれらの諸問題が派生していることを直視する必要がある。すなわち、新基本法は、WTO への協調から旧基本法と比較して市場志向性が強く、規制緩和・競争・効率を基調とし、価格政策を基本的に放棄している。「効率的・安定的経営体」の一定の増加の一方で、農業経営数は激減し、担い手不足が顕著となっている。中山間地域等直接支払制度が新設され、条件不利の補正に一定の効果をあげているものの、そこでは地域そのものの維持が困難性を増している。

他方、新基本法は農業の多面的機能、自然循環機能など環境にも配慮する項目を設けて、農業の外部不経済への対策にも着手した。しかし、国際競争下での低コスト生産がより重視され、生産過程における資材・機械等の投入がいっそう助長され、地球温暖化と生物多様性の喪失に拍車をかけるなど、環境への負荷を高めてきた。

こうした競争・規制緩和を基調とする新自由主義的農政の持つ基本問題に対処すべく、世界では、持続可能な視点から食料・農業システムの見直しが進んでいる。アグロエコロジーを重視し、環境負荷の少ない技術、担い手としての中小家族経営の役割があらためて見直されている。そこでは生産費にもとづく公正で再生産可能な価格形成を図る取り組みや責任あるガバナンス(統治)等の議論も始まっている。効率・競争最優先から持続可能性・公正性を基調とする農政への転換が模索され、また消費者の意識改革も目指されている。

そこで本シンポでは、こうした世界の新潮流もふまえてグローバルに中長期的視点から、新基本法農政を振り返り、新たな基本法が目指すべき方向と論点について明らかにする。

4 名の報告者(会員の横山英信氏、鈴木宣弘氏、非会員の谷口吉光氏、西山未真氏)からは、経済的、環境的、社会的持続可能性および公正性の視点からこれまでの基本法農政を批判的に検証していただき、基本法の見直しにおいて求められている新たな方向性を論じていただく。2 名のコメンテーター(会員の磯田宏氏、高梨子文恵氏)からは、アグリビジネスの事業展開と市場流通の転換の観点から、ポイントを絞ってコメントをいただく。

７．連絡事項

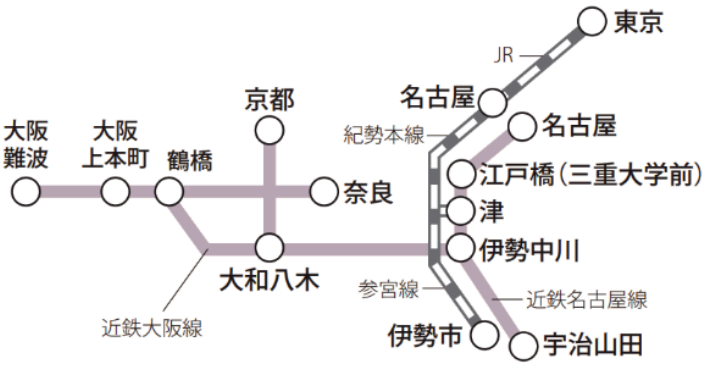
★報告要旨集について

今回の大会では報告要旨集を印刷しません。シンポジウム報告や個別報告の要旨を学会ホームページに掲載しますので、皆さまでダウンロードしていただくようお願いします。ダウンロードの方法等については、追って学会ホームページでご連絡します。

★インターネット接続について

三重大学の建物内では、国立情報学研究所が提供している eduroam を利用してインターネットに接続できます。eduroam の設定方法については各所属機関で確認をお願いします。

★交通アクセス



近鉄線

江戸橋駅が最寄駅となります。大学まで徒歩 15 分程度です。バスはありません。

普通と急行のみ停車します。特急は停車しません。特急利用の場合、大阪方面からは津駅で、名古屋方面からは白子駅で乗り換えとなります。

JR 線

津駅が最寄駅となります。徒歩で 40 分程度です。

津駅東口から三重交通バスがあります。三重大学前での下車となります。

４番のりばの以下の系統になります。

06 系統（白塚駅）, 93 系統（大学病院）, 51 系統（三重病院）, 52 系統（椋本 - むくもと）, 52 系統（豊ヶ丘）, 52 系統（サイエンスシティ）, 53 系統（東豊野）, 56 系統（高田高校）

土曜																				
行き先	経由	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
椋本	高田高校前		57	57	47		19	19	19	19	19	19	19	19	19	27	27	42		
サイエンスシティ	高田高校前			37	29	49			29					29						
行き先	経由	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
高田高校前					11															
三重病院	本山前			40		43		43		43		43		43		43				
行き先	経由	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
白塚駅				4 37		9	9		9	9		9	9		9	9	9			
豊が丘	高田高校前			17	17	レ17	レ49	レ49	レ49	レ49	レ49	49	49	49	49	57	57			
行き先	経由	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
東豊野	豊野団地				46		31	54					7	34						

バスのりば

中部国際空港から

津エアポートラインにより高速船が運行されています。

運行ダイヤが毎月変更（土日と平日でも異なります）になっているため詳細はホームペー

ジで確認してください。
津なぎさまち到着後、津駅までバスがありますが本数が１日４本と少なく要注意です。
中部国際空港から名鉄線と近鉄線を乗り継ぐ方が早い場合があります。

[空港アクセス港（津なぎさまち） ⇒ 津駅前]

土曜																				
行き先	経由	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
津駅						52		52			52			12						

会場案内

理事会及び各種委員会は人文学部校舎（地図では E）で、シンポジウム・総会及び個別報告は生物資源学部校舎（地図では D）での開催となります。ご注意ください。
大学正門から大学構内へ入ってください。大学病院前から大学構内にも入ることはできますが、生物資源学部校舎までの経路が複雑になります。

宿泊案内

大学近くにはホテルがありません。津駅周辺には以下のホテルがあります。以下以外もありますが、大学からの交通（バス）の便があまり良くありません。

・ホテルグリーンパーク津
・三交イン津駅前
・ホテルエコノ津駅前
・ドーミーイン津
・アポアホテル津
・東横 INN 津駅西口
・ホテル ザ グランコート津西